

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	基本事業	家庭及び地域の教育力向上の推進		事業実施主体	市
	事務事業	早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

**事業の概要**  
 近年の少子化や核家族化などにより、家庭教育力の向上が求められている中、子どもたちの健やかな成長には、基本的な生活習慣の形成が大切であり、特に、朝ごはんの摂取は、子どもたちの学力に影響を与えることが全国学力・学習状況調査結果から伺えます。また、学校での問題行動の抑制など心の安定にも効果があるといわれているため、文部科学省が展開している「早寝早起き朝ごはん運動」のさらなる普及・啓発活動を実施する。  
 平成26年度から子どもの基本的な生活習慣づくりの定着を図るため、「生活リズムチェックシート」を配付するなどの啓発事業を実施する。

**30年度概要**  
 各小・中学校での普及・啓発活動の実施  
 ・全小・中学校を対象に「生活リズムチェックシート」の配付、回収、集計、集計結果の報告  
 ・全小・中学校等を対象に啓発ちらしの配付  
 ・希望小学校へ啓発説明

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------


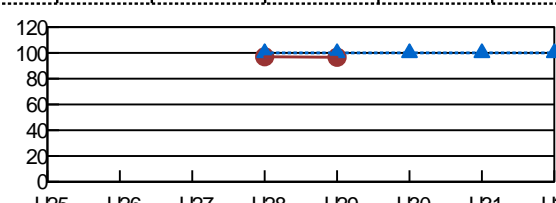
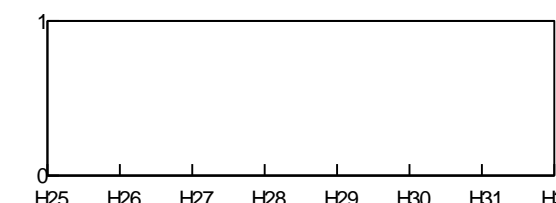
【事業の目的】

対象（何を）	幼、小、中学校、保育所の児童・生徒及び保護者
意図（どのような状態にしたいか）	子どもたちの生活リズムを向上させ、学習やスポーツ・読書など様々な活動にいきいきと取り組める子どもたちを育成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業実施校数	校		71	71	70	70

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
朝食を食べる小学6年生の比率	%	目標値		100	100	100	100
		実績値		97	96.6		
<b>成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）</b> 啓発を行っているが、昨年度実績より若干下がった。 （目標達成度） 							（達成度） 96.6% 33点
<b>成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）</b> （目標達成度）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	2,674	5,044	4,129	3,257
（事業費）	[円]	1,139	1,118	1,094	222
（職員人件費）	[円]	1,535	3,926	3,035	3,035

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

就学時健康診断等多くの保護者が集まる機会をとらえて、啓発を行ったが、引き続き、学校・家庭の一層の協力を得る中で、朝ごはん摂取率の向上等に努める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

児童・生徒の朝食摂取率の向上に向けて、現取組みを継続的に推進するとともに、より効果的な実施方法等を検討・実施する。

平成30年度(29年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	基本事業	家庭及び地域の教育力向上の推進		事業実施主体	市
	事務事業	家庭教育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	家庭教育力のさらなる向上を図るため、小学校において「家庭教育学級」を開設するほか、小学校における就学時健康診断・入学説明会や、幼稚園の授業参観等の機会を活用した「子育て力向上応援講座」等を実施し、多種多様な学習機会・関連情報を提供する。				
30年度概要	家庭教育学級の開設 ・地域コミュニティ 小学校(委託) 子育て力向上応援講座 ・全小学校、市立幼稚園、私立幼稚園、市立保育所等 家庭教育情報テレビ				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		

【事業の目的】

対象(何を)	市内の幼児・児童・生徒の保護者
意図(どのような状態にしたいか)	家庭教育力の向上、ワークライフバランス、社会活動への参画のほか、情報交換・相互交流を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
子育て力向上応援講座実施数	か所		132	127	140	140

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	講座の開催数	件	目標値			378	380	380
			実績値		209	442		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)	500 400 300 200 100 0 H25 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32 						(達成度) 116.9%
	家庭教育学級については、315回開催し、目標回数である240回を大幅に上回った。	(目標達成度)						
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	6,591	8,299	7,174	7,310
(事業費)	[円]	2,752	2,803	1,863	1,999
(職員人件費)	[円]	3,839	5,496	5,311	5,311

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

家庭教育学級については、小学校のみでの開催となったが、講座数は315回開催し、また、子育て力向上応援講座は保育所を新たに対象に加えるなど、家庭教育の充実を図った。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

保護者が集まる様々な機会を活用して、家庭教育についての講座、講演会を開催できるよう努める。

平成 30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	基本事業	家庭及び地域の教育力向上の推進		事業実施主体	市
	事務事業	子どもを中心にした地域交流事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	各地域のコミュニティ協議会や子ども会、PTA等の複数の各種団体が構成された実行委員会が、年間7日以上（2泊3日以上）の通学合宿を含む。）実施する子ども、保護者及び地域の大人が交流する事業に対して、助成する。
-------	---

30年度概要	新規 3団体 継続 8団体
--------	------------------

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	各地域の児童生徒とその保護者並びに地域の大人
意図（どのような状態にしたいか）	事業を通して、地域の子どもと保護者並びに大人が顔見知りになることで、人と人とのネットワークが広がり、地域の教育力が向上する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
補助金交付団体数（新規）	団体		4	4	3	4
補助金交付団体数（継続）	団体		8	12	8	8

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
地域交流事業に参加した児童生徒の累計人数	人	目標値	1,512	3,780	36,182	47,182	47,182
		実績値	1,512	8,742	40,868		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成 27・28 年度実績を基に目標値を変更したが、児童生徒の参加がかなり多く、目標を大幅に上回った。 (目標達成度)						(達成度) 113.0% 35点	
地域交流事業に参加した保護者の累計人数	人	目標値	336	840	8,917	11,667	20,167
		実績値	336	1,343	11,343		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成 27・28 年度実績を基に目標値を変更したが、児童生徒とともに保護者の参加も多く、目標を大幅に上回った。 (目標達成度)						(達成度) 127.2% 35点	

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[円]	1,200	5,006	5,282	4,874
（事業費）	[円]	1,200	1,080	1,488	1,080
（職員人件費）	[円]		3,926	3,794	3,794

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

各地域において、農業体験、ラジオ体操など様々な活動内容で子ども・保護者・大人との交流が図れた。また、助成期間終了後においても地域交流事業を持続していただくよう周知依頼を行った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

高松型コミュニティスクールとの連携の可能性を検討し、より地域の教育力の向上が図れる事業運営を展開していきたい。